千葉市の花　大賀ハス

大賀ハス開花60周年記念

ハスの花の4日間

1日目

早朝4～5時頃から花弁がゆるみ始め、とっくり型に開いた後、8時頃には閉じ始める。
雄しべが花托に密着している。

2日目

深夜1時頃からゆるみ出し、朝7～9時頃に全開する。
花容が最も優美になり、葯が開いて香りが強まる。花托は黄色みを帯びる。

3日目

深夜1時頃から開きはじめ、9～10時頃に全開して花径が最大となる。
花色はややあせ、昼頃に閉じ始め半開の状態で終わる。

4日目

8時頃までに全開となり、花弁が少しずつ散り始め午後3時過ぎには完全に散る。
花の退色が進み、花托上面は緑が濃くなる。

大賀ハスとは

2000年前から存在したとされる古蓮。
大賀一郎博士が発見し、この名がついた。
花弁数は14～24枚、花径は15～28cm、
一重咲き、花色は淡紅色、極早咲き性の花ハス。

大賀ハスの由来

発掘と発芽

1951（昭和26）年3月3日から4月4日までの34日間、大賀一郎博士たちは千葉市検見川の東京大学農学部厚生農場内（現・東京大学総合運動場）の泥炭層を掘り下げ、地下約6メートルから3月30日に第1番目の古蓮実1粒、4月6日に2粒の実を発掘しました。

同年5月に大賀博士宅（東京都府中市）で発芽処理が行われ、生育した実生苗2株が6月に千葉県農業試験所（現県農林総合研究センター）へ移されました。1株は間もなく枯れ、3月30日出土の実生苗だけが立葉8枚の株に大きく生長しました。

生育と開花

翌1952（昭和27）年4月7日に生長根を掘り上げ、蓮根4節60cmを東京大学園芸試験所（現東大大学院農学生命研究科附属緑地研究所）に、3節約40cmを千葉市千葉公園の弁天池（綿打池の一角）へ移植、2節約30cmを県農業試験場に分根、栽培されました。

東大の蓮根は、地元の伊原茂氏に栽培委託され、この株が1952（昭27）年7月18日に開花しました。千葉公園の株は1953（昭28）年8月5日、県農業試験場の株は1955（昭30）年に開花しています。

命名と年代測定

1954（昭和29）年3月31日付で千葉県の天然記念物「検見川の大賀蓮」として指定され、以来、この古蓮は「大賀蓮」と呼ばれています。大賀蓮は、実と同じ地層から出土した丸木舟のラジオカーボンテストによって2000年前の古蓮と推定されました。

分根と市の花

1粒の古蓮実が3つの蓮根となり、その後、実や蓮根によって、国内及び海外へ150箇所以上に分根され、友好と平和の使者として親しみ愛されています。

平成5年（1993）4月29日には、千葉市が政令指定都市に移行したことを記念し「市の花」に制定され、古代のロマンを秘めた花蓮として本市の象徴になっています。

大賀一郎博士

1883（明治16）年岡山県に生まれた大賀博士は、東京大学の指導教授藤井健次郎先生に「ハスの受精現象」というテーマを与えられたことを契機となり、その後、古蓮、ハスの開花音、ハス糸などハスに関する幅広い研究を続けました。

大賀ハスの発見によりハス博士といわれるようになりましたが、1965（昭和40）年6月15日に死去。享年82歳。

ハスに関するよくある質問

鑑賞の時間は？

花の色、姿が共に最も美しいのは開花二日目で、６～７時に満開となります。９時頃から閉じ始め昼前には完全に閉じますので、なるべく早い時間（７～８時）の鑑賞がおすすめ です。なお、曇りの日の方が長い時間、花を楽しめますが、晴れている方が色は鮮やかです。

ハスの開花音って？

朝、目が覚めたコイが水面の虫などを吸い込むときの音、また葉の露の玉が転がり落ちる音…これが人によれば「ぽん」と聴こえ、ハスが開花する音と思う、これを大賀博士は「風流音」と呼んでいます。一方「科学音」は、音がするかしないか科学的に調べる方法です。大賀博士は、開花音をレコーダーを使ってテストを行った結果、ハスの花が咲くときは音がしないと科学的に判定され、今では「無音」が定説となっています。

ハスはどんな香り？

資生堂開発研究所の蓬田勝之氏は、ハスの花約５０種の雄しべを使って香りを捕集し、その構成成分を分析しました。その結果、すがすがしい花の香りの大部分は雄しべから放出されていることを明らかにしています。香気成分は、開花１日目、２日目、３日目と開花の経過とともに増加していきます。

果托はどうするの？

千葉公園のハス池では、大賀博士から分根された大賀ハスの遺伝子を保存するため、蓮根による栄養繁殖で栽培しています。種子繁殖を行わず、他のハスと交雑しないよう、実を結んで池に落下する前に花托（果托）は刈り取っています。

ハス池の1年！

4月中旬に浮葉が現れ、5月上旬に立葉が芽を出し、5月下旬には花蕾が立ち上がります。千葉公園では6月上旬に開花が始まり６月下旬から7月上旬に開花の最盛期を迎え、8月中旬には花が終わります。11月に立葉が枯れはじめ下旬に刈り取ります。翌年3月上旬頃、蓮根を堀りあげ、植え替えを行います（3年に１度のサイクル）。

浮葉（銭葉）

ハスの未熟な果托

堀りあげた蓮根